

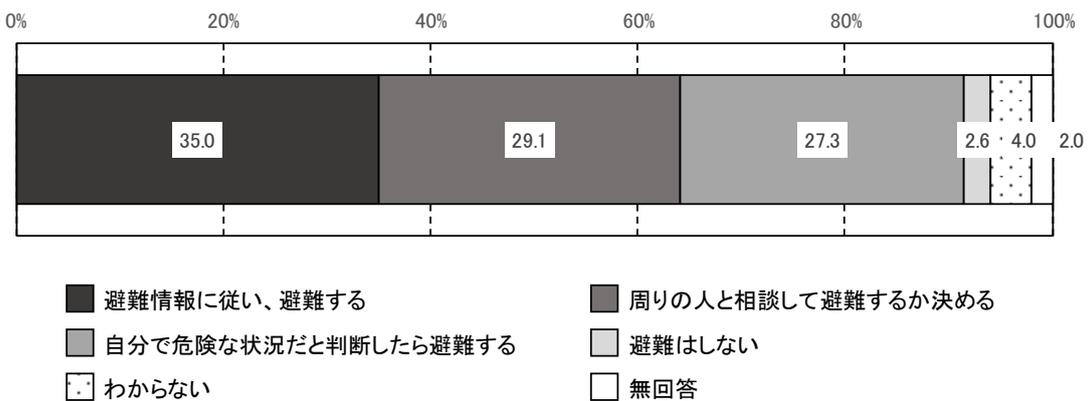
問27 避難情報に対する行動

問27 あなたは、台風や集中豪雨発生時に市町村から「避難準備・高齢者等避難開始※」や「避難勧告」などの避難情報が発令された場合、勧告等に従って行動しますか。
(1つだけ)

全体(図27-1)で見ると、「避難情報に従い、避難する」が35.0%と最も高く、次いで「周りの人と相談して避難するか決める」(29.1%)、「自分で危険な状況だと判断したら避難する」(27.3%)の順となっている。

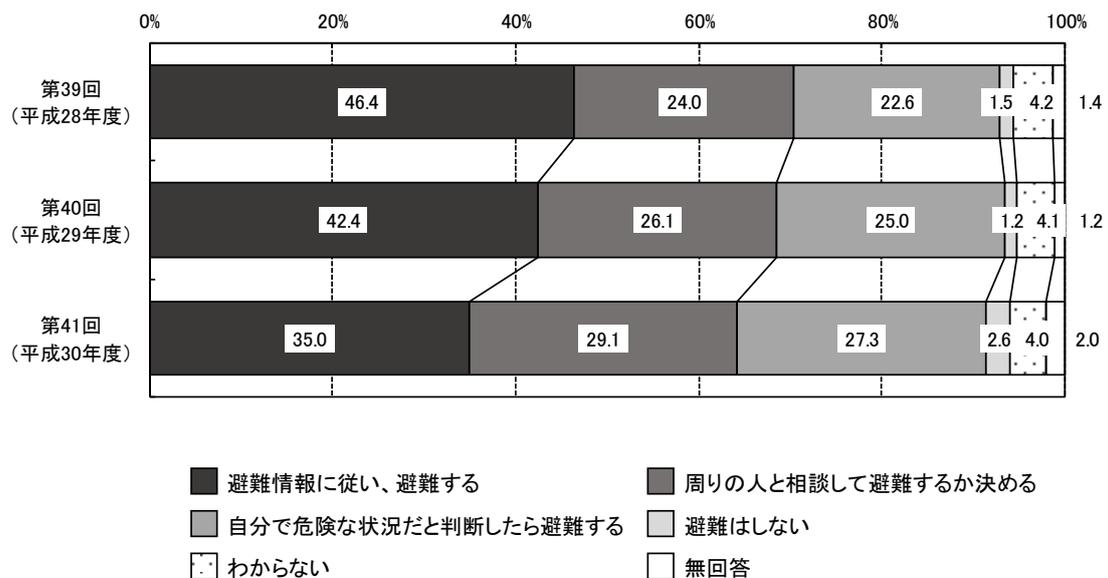
図27-1 避難情報に対する行動

回答者数(n = 1,436)



前々回・前回比較(図27-2)で見ると、前々回・前回と同様に「避難情報に従い、避難する」が最も高いが、7.4ポイント減少している。

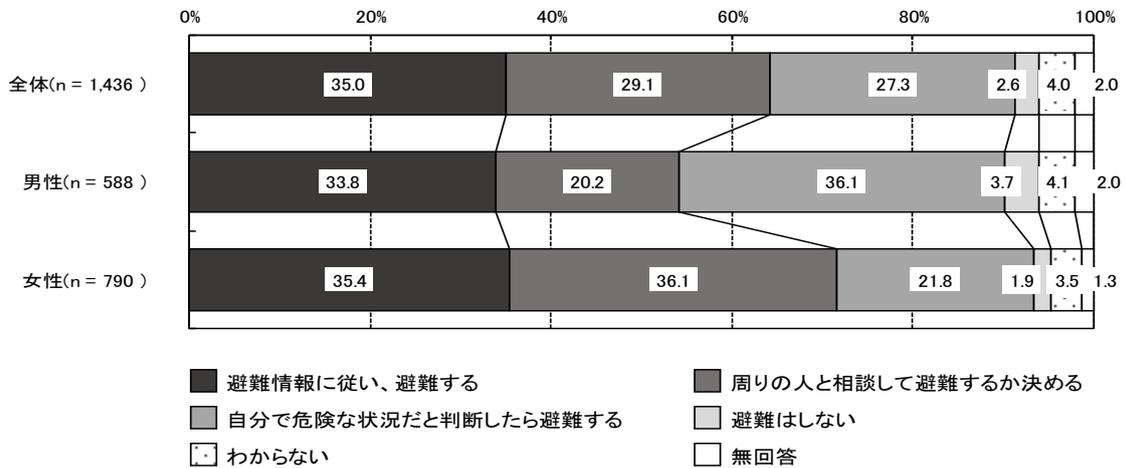
図27-2【前々回・前回比較】避難情報に対する行動



※ 避難準備・高齢者等避難開始:平成28年台風第10号による水害で、岩手県岩泉町の高齢者施設において避難準備情報の意味するところが伝わっておらず、適切な避難行動がとられなかったことを踏まえ、名称が変更された。

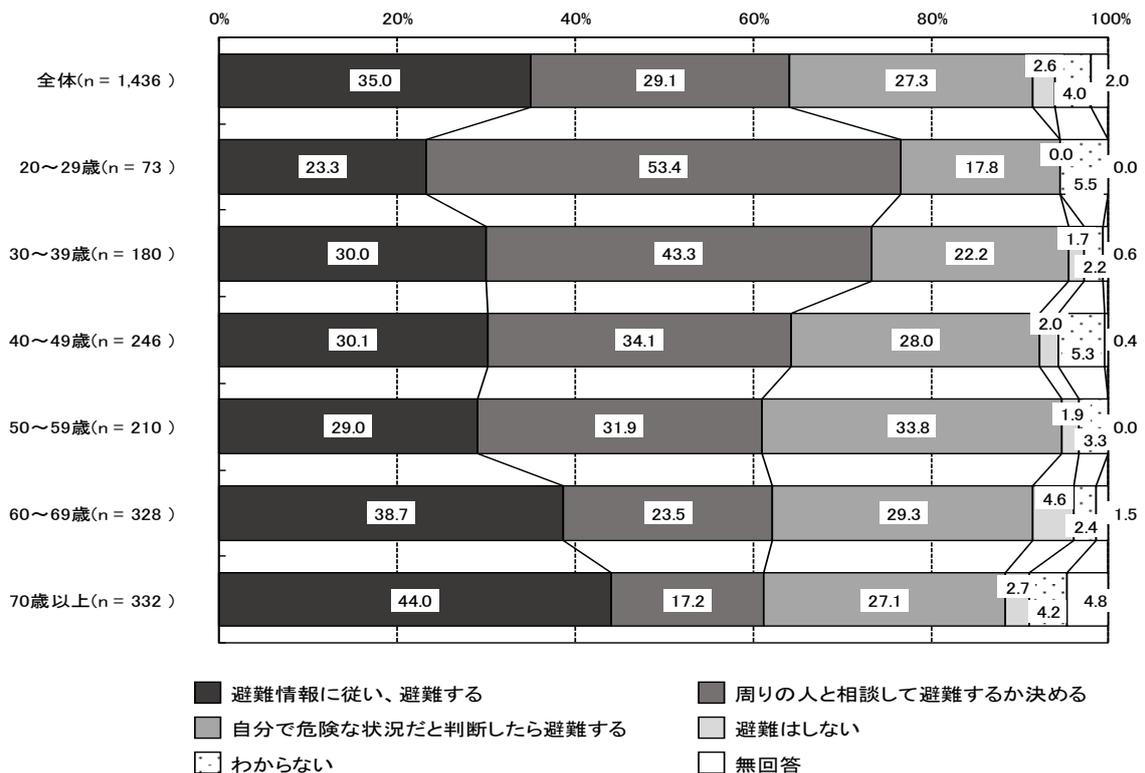
性別（図 27-3）で見ると、男性では「自分で危険な状況だと判断したら避難する」が最も高く、36.1%となっている。女性では「周りの人と相談して避難するか決める」が最も高く、36.1%となっている。「避難情報に従い、避難する」では、女性が男性より 1.6 ポイント高くなっている。

図 27-3 【性別】 避難情報に対する行動



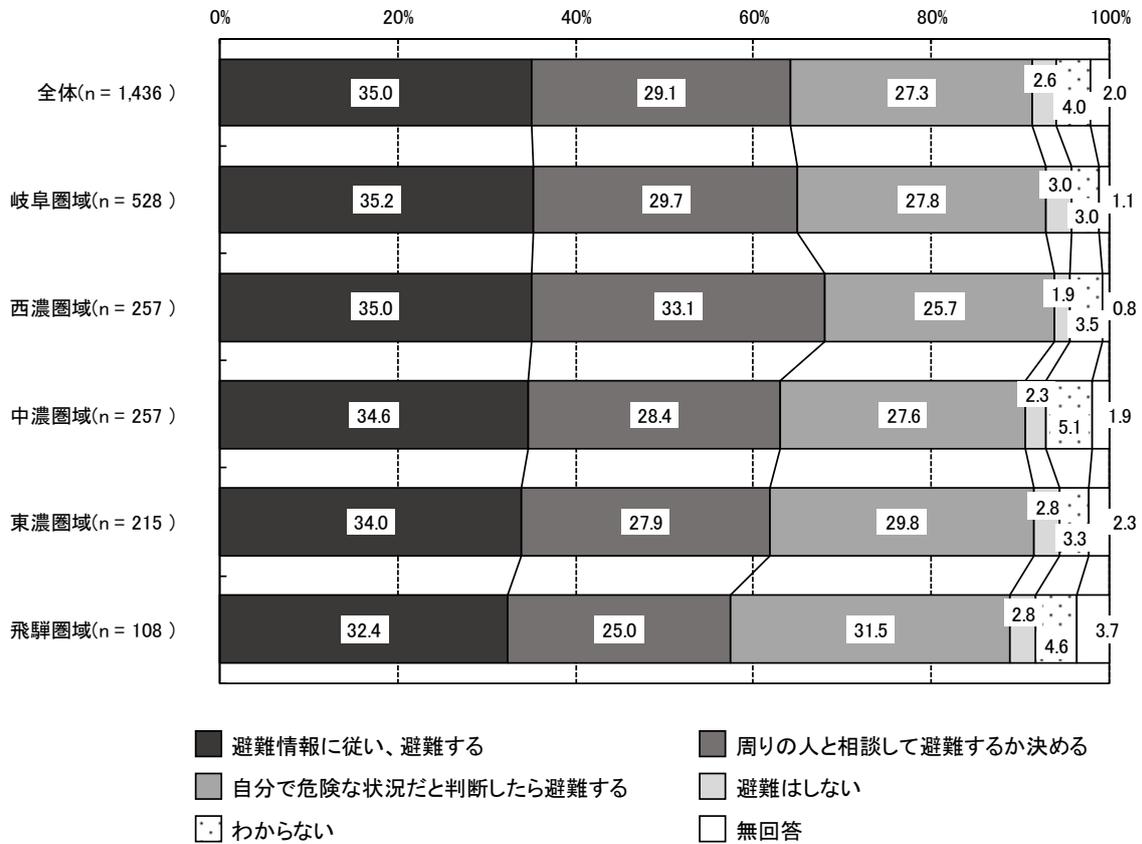
年代別（図 27-4）で見ると、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「周りの人と相談して避難するか決める」が最も高く、そのうち 20 歳代が 53.4%と最も高くなっている。50 歳代では「自分で危険な状況だと判断したら避難する」が最も高く、33.8%となっている。60 歳代、70 歳以上では「避難情報に従い、避難する」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 44.0%と最も高くなっている。

図 27-4 【年代別】 避難情報に対する行動



居住圏域別（図 27-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「避難情報に従い、避難する」が最も高く、そのうち岐阜圏域が 35.2%と最も高くなっている。

図 27-5 【居住圏域別】 避難情報に対する行動



居住環境別（図 27-6）で見ると、いずれの居住環境においても「避難情報に従い、避難する」が最も高く、そのうち商業地域が 38.7%と最も高くなっている。

図 27-6 【居住環境別】 避難情報に対する行動

